

# 学校再編ニュース

《第1号》(平成23年3月15日発行)



《発行》小樽市教育委員会(適正配置担当)  
電話 0134-32-4111(内線533)  
FAX 0134-33-6608  
Eメール gakkō-tekisei@city.otaru.hokkaido.jp

市民のみなさんの理解と協力により学校再編を進めていきます

## 学校再編の状況についてお知らせします

小樽市教育委員会では、少子化に伴う小中学校児童生徒の減少や学校施設の老朽化に対応し、教育環境の向上を図るため、平成21年11月に策定した「小樽市立小中学校 学校規模・学校配置 適正化基本計画」に基づき、学校再編を進めています。

また、学校再編に合わせて、学校施設の耐震補強や大規模改修を実施していきます。



長橋小の耐震補強工事(平成22年12月完了)  
ブレースを斜めに入れ耐震補強工事を行いました。また、これに合わせて校舎の外壁・屋上防水の改修や暖房設備更新等も行いました。(屋上には太陽光パネルを設置)

平成22年5月から7月にかけて、市内を6地区ブロックに分けて「学校再編についての地区別懇談会」を開催し、具体的なプランである「ブロック別学校再編プランの検討のために」を議論のたたき台として示し、全市的に保護者や地域のみなさんと話し合いを行いました。

全体の参加者は、799人で延べ430件の意見・要望等をいただきました。

その後も、学校施設の老朽化により施設整備が急がれる「高島・手宮地区」「中央・山手地区」や、「南小樽地区」で引き続き懇談会を行っています。

※ 2ページ以降をご覧ください。

「地区別懇談会」で示したプランや皆さんから寄せられた意見と教育委員会の回答は、学校にも置いてあります。また、市のホームページにも掲載しています。

小樽市 学校再編 で  クリック

### 学校再編 Q&A

(Q)「小樽市立小中学校 学校規模・学校配置 適正化基本計画」の計画期間は?

(A)平成22年度から平成36年度までの15年間としています。

(前期)平成22~29年度までの8年間

塩谷・長橋地区、高島・手宮地区、中央・山手地区、南小樽地区

(後期)平成30~36年度までの7年間

朝里地区、銭函地区

## 高島・手宮地区

### 懇談会の開催状況

平成 22 年	平成 23 年
9月28日 手宮地区小学校3校 (PTA 役員)	1月25日 高島小 (保護者)
10月18日 祝津小 (保護者)	1月28日 手宮西小 (保護者・地域)
12月13日 北手宮小 (保護者)	2月14日 手宮小 (保護者・地域)
	2月28日 高島・手宮地区小学校5校 (PTA 役員)

高島・手宮地区では、老朽化している手宮小を建て替えることとし、統合校の位置について話し合いを進めています

#### ■小学校 Aグループ (祝津小・高島小)

《教育委員会のプラン》 学校数 2校 → 統合後 **1校**  
統合校の位置 高島小

- ◆ 祝津小の保護者から、高島小との学校規模の違いによる統合の不安や事前交流についての意見が出されており、統合時期について引き続き話し合いを進めています。

#### ■小学校 Bグループ (北手宮小・手宮西小・手宮小)

《教育委員会のプラン》 学校数 3校 → 統合後 **1校**  
統合校の位置 手宮西小 または 手宮小

- ◆ 教育委員会は、この3校の統合校の位置は、通学距離や通学路の安全上、手宮小を建て替えし小学校とすることが適切と考えています。懇談会では、手宮地区小学校3校の保護者からは、基本的に了解をいただきました。  
※ 建て替えには測量調査から始め、完成までおおむね5年程度かかります。

#### ■中学校 (北山中・末広中) ※ 統合校の位置は、小学校の懇談会の中で話し合いを進めています。

《教育委員会のプラン》 学校数 2校 → 統合後 **1校**  
統合校の位置 手宮西小 または 手宮小

- ◆ 北山中は築50年以上経過しており、末広中は夜の通学路の安全上の不安が指摘されていることから、教育委員会は、中学校の統合校の位置は、手宮西小を改修し中学校とすることが適切と考えています。  
懇談会では、高島地区や祝津地区の保護者から、バス通学の場合、手宮ターミナルからは手宮小の方が近いことから、手宮小を中学校としてほしいとの要望が出されています。また、手宮西小を中学校とするのであれば、中学生の歩く負担も考え、バス通学助成(定期代を全額市が負担)などの通学支援策も検討してほしいとの要望も出されました。

## 南小樽地区

南小樽地区では、量徳小の平成24年4月の統合に向け、統合協議会を設置し準備を進めています

### ■小学校 Aグループ（量徳小・潮見台小・若竹小）

量徳小については校区を2つに分け、1つは隣接する中央・山手地区の花園小と、もう1つは同じグループの潮見台小と、平成24年4月に統合します。

この統合準備を進めるため、平成23年2月に次の2つの統合協議会を設置しました。

それぞれの統合協議会の中に「教職員部会」「保護者部会」「校名等に関する部会」の3つの部会を設け、具体的な準備を進めています。



2月4日に開催された統合協議会の様子

★ 統合協議会ニュースはホームページに掲載しています

◆花園小学校・量徳小学校統合協議会 委員 31名  
第1回 平成23年2月4日

◆量徳小学校・潮見台小学校統合協議会 委員 28名  
第1回 平成23年2月9日

#### 統合に向けた設備の整備(花園小)

- ・トイレ改修（洋式化・悪臭対策）
- ・暖房機更新、防火シャッター改修
- ・給水設備改修（保健室・特別支援学級）
- ・玄関改修、教室ドア入れ替え、網戸設置 など

#### 統合に向けた設備の整備(潮見台小)

- ・トイレ改修（洋式化・悪臭対策）
- ・暖房機更新、防火シャッター改修
- ・ことばの教室新設
- ・玄関オートロック設置、網戸設置 など

※ 潮見台小と統合予定の若竹小については、現在も話し合いを続けています。

※ 小学校Bグループ（天神小・奥沢小）の再編は、Aグループの統合に一定の目途がついた段階で協議に入ります。

### 学校再編 Q&A

(Q)統合協議会での協議内容は？ (A)協議内容の例では次のようなものがあります。

- ・統合校の校名、校歌、校章
- ・教育目標や学校づくり
- ・施設設備の改修
- ・教材、教具
- ・各学校の歴史、伝統の保存
- ・お子さんの心のケア
- ・通学時の安全確保対策 など

## 中央・山手地区

### 懇談会の開催状況

平成22年10月4日 緑小・最上小・松ヶ枝中（PTA役員）

中央・山手地区では、老朽化している緑小の建て替えや松ヶ枝中の移転について話し合いを進めています

《教育委員会のプラン》 緑小を建て替えし最上小と統合した後、最上小を中学校に改修し松ヶ枝中を移転するプラン

- ◆ 昨年の地区別懇談会で、緑小の統合位置については、現在地ではなく小樽公園内の旧車両整備工場敷地（シガスーパーさん向かい）に建て替えた方がよいとの意見もあったことから、これを含め検討しています。

## ◇学校施設の大規模改修と耐震補強工事の状況◇

教育委員会では、学校再編に伴い、統合に向けた学校施設の大規模改修を行います。  
また、耐震診断を実施し、学校施設の耐震化を進めています。

### ■大規模改修に着手する学校■

平成 24 年 4 月の統合に向け平成 23 年度に大規模改修に着手します。

**花園小** 校舎前通路の整備(幅員拡幅・歩車道分離)、グラウンド改修

※ 花園小については、耐震診断の結果、校舎・屋体の耐震補強工事、大規模改修は平成 24 年度になります。

**潮見台小** 校舎の外壁・屋上防水改修、屋体の外壁・屋根塗装、小体育館屋上防水改修、グラウンド改修

※ 花園小・潮見台小の内部改修(暖房設備更新、トイレ改修等)については、3ページの南小樽地区をご覧ください。

### ■耐震補強工事が終了した学校■

耐震補強工事に合わせて、それぞれの学校で施設の改修を行いました。

**長橋小** ※ 1ページの写真をご覧ください

**桜小** ※ 右の写真をご覧ください

**朝里中** 外壁改修、屋根塗装等 (平成 22 年 12 月完了)

**銭函中** 外壁・屋上防水改修、暖房設備更新等

(平成 23 年 1 月完了)

**朝里小** 外壁改修・屋根塗装等 (平成 23 年 2 月完了)

### ■耐震補強工事に着手する学校■

耐震補強工事の実施設計が終了し、平成 23 年度から補強工事と施設改修に着手します。(24 年度まで)

**長橋中** 外壁・屋上防水・トイレ改修、暖房設備更新等

**桜町中** 外壁・屋上防水・トイレ改修、暖房設備更新等



**桜小の耐震補強工事** (平成 22 年 12 月完了)

校舎の外側に鉄筋コンクリートの枠(フレーム)を設け、耐震補強工事を行いました。また、これに合わせて校舎の外壁改修、屋根塗装等を行いました。

### ■耐震診断中の学校■

耐震補強工事が必要な校舎・屋体であるか診断しています。

**高島小(校舎)**、**長橋小(屋体)**、**桜小(校舎の一部、屋体)**、**銭函中(屋体)**

※ 潮見台小は耐震診断の結果、耐震基準を満たしており、補強工事が不要となりました。

## その他の地区・グループの今後の進め方について

昨年 5 月から 7 月にかけて開催した「学校再編についての地区別懇談会」以降、このニュースでお知らせした地区を中心に話し合いを進めていますが、これからは適正化基本計画の前期に位置付けしている他の地区・グループでも話し合いを進めていきます。 ※ 計画期間(前期・後期)は1ページ下段をご覧ください。

このあとの状況は「学校再編ニュース(第2号)」でお知らせします